

憲法擁護
核兵器廃絶
狭山闘争勝利

東京平和運動センター ニュース

NEWS

■ 2015年 12月 月1回発行 142号

■ 発行所：東京都港区芝浦3丁目2番22田町交通ビル
東京平和運動センター

■ 発行人：桐田 達也 TEL・FAX 03-5443-4110



キャンパスシュワブ前で、横断幕を掲げ抗議する市民

目	次
辺野古新基地建設工事再開抗議行動	2
憲法理念の実現をめざす第52回「護憲大会」	4
自治労東京「もんじゅアクション」	4
東交「辺野古新基地建設反対・学習派遣団」	5
狭山東京実行委員会第21回総会	6
活動日誌・当面の日程	7

オール沖縄で辺野古新基地反対闘争は勝てる！

12月2日、国が翁長雄志知事を訴えた代執行訴訟の第1回口頭弁論に知事が出廷し、知事は取り消しの適法性を主張する一方、新基地建設の非道を正面から訴えた。沖縄県民の80%以上が新基地に反対し、この間の選挙でも反対の民意を表明している。前知事の埋め立て承認には瑕疵があり、また、沖縄防衛局が私人として行政不服審査法を使い、政府が埋め立て承認を執行停止したのは違法である。国が代執行訴訟を併せて起こすのは手続き濫用である。県民の同意なき新基地建設は憲法が保障した地方自治の侵害に当たる。沖縄への過重な基地負担の継続は法の下での平等にも反する。

日本の法律が及ばない基地の建設は憲法41条が定める法的根拠がない。公有水面埋め立法は、国防・外交に関する事項を知事の承認判断から除外すると定めていない。辺野古新基地建設は自然を喪失させ、県民の過重な基地負担を固定化させ、公益に反する。など堂々たる弁論をしました。

これに対し菅官房長官は、普天間基地は危険であり抑止力・防衛の観点からも移設先は辺野古が唯一であり、日米で確認している。と強弁し、何が何でも辺野古新基地を進めようとしています。

これまでの日米交渉では、南西諸島の防衛は、日本が独自に行うものとされ、在日米軍は直接対処しないとされています。中国や北朝鮮の脅威を煽り、負担軽減とは逆に基地負担を課そうとしています。具体的には、南西諸島を中国艦船の太平洋への通過を阻止するために、奄美大島、沖縄本島、宮古島や石垣島、与那国島に自衛隊基地を新設し、公海上の中国艦船を攻撃できる地対艦ミサイル部隊を配備する。ミサイル部隊への中国軍の上陸攻撃を想定し地対空ミサイル部隊を配備する。ミサイル部隊への中国軍の上陸攻撃を想定して有事即応部隊を配備する。航空機の攻撃を想定し地対空ミサイル部隊を配備し、宮古島では強固な地下ミサイル司令部を建設する。各島での自衛隊基地建設の場所も選定しており、4～5年以内に作る計画で延べ3,000人の自衛隊を配備しようとしている。

11月18日で米軍キャンプ・シュワブのゲート

前座り込みを開始してから500日を迎えました。この日は県議、市町村議団、市民団体の呼びかけで1000人が結集し、工事関係車両の出入りや機動隊による強制排除などを阻止しました。しかし、海上では抗議中の男性が海上保安官に暴行され病院へ緊急搬送されました。政府は新基地建設を強行するためにはなりふり構わず、11月4日には



は警視庁機動隊150人以上を導入し、座り込みを封殺しようとしていました。また11月10日には中断中の掘削作業再開を強行し、本土では「本格工事開始」のメディア報道が一斉にされました。実際は兵舎撤去後の整地なのに。政府や菅官房長官は「本格工事着工」のデマを流し、抵抗しても無駄であるとの、世論の分断を画策しています。

政府は新基地建設のためなら、アメと鞭で懷柔を進めています。その一つに新基地建設場所に近い名護市辺野古、久志、豊原（久辺3区）に対し、防衛省は27日、直接補助金を交付できる制度を策定し、年内にも直接各区に各1,300万円を交付することを決定した。自治体の名護市を通さず「建設賛成派」の住民に金をばらまいて籠絡させるなど国や政府にあってはならない禁じ手であります。さらに辺野古漁協などの漁船を1日20隻～30隻を監視船として借り上げ、日当5万円を支払い続け、新基地反対の行動に水を向けています。

11月23日、私と初代事務局長の森本氏の2名で名護市に到着。翌日からゲート前の闘争に参加。24日、朝6時前、名護市議の川野さんに迎えを頼み、車で出発。基地から1km位手前の二見の駐車場（地元の有志の方が提供、シュワブ・ゲート付近の駐車は警察が妨害する可能性あり）で下車し、仲間の車でゲートに向かう。二見の交差点には、機動隊のカマボコ数台が並走してくる。緊張感と闘志が湧いてくる。6時過ぎ正面ゲート到着。昨夜からの仲間、早朝からの仲間が集まってくる。大城沖縄平和運動センター事務局長の合図で、プ

ラカードを手に正面ゲート前を1列で示威行動
「辺野古新基地建設反対!」「米軍は出ていけ!」
「警視庁機動隊は帰れ!」「辺野古の海を守るぞ!」
など雄叫びを挙げ、軽くウォーミング・アップ。
正面ゲート前には、アルソックの警備員、基地内
には沖縄県警と警視庁機動隊員、基地警備員が、
200人以上、機動隊の指揮車やカマボコ数台、ま
だ暗いうちなのに異様な雰囲気漂う。ゲート前
の国道には基地内の士官や工事関係者、防衛局職
員の車などやってくる。7時前に「座り込め」の
合図で、80人が抗議の声と隣同士の腕を組み、作
業車や工事車両の基地侵入を封鎖する。7時に機
動隊指揮者の「排除」の掛け声で、機動隊が一斉
に襲い掛かり国道側前列から腕をつかみ、足を引
っぱり隊列を崩しにかかる。「やめろ」「機動隊
は帰れ」の叫び声で応戦。おじいやおばあが頑張
る。しかし、多勢に無勢。10分後には、ゲート前
に待機していた、工事関係者や重機が基地内に入
っていく。その後また、ゲート前で抗議の集会を
続行。海上では反対派の抗議船4隻と15艇のカヌ
ーで臨時制限区域の内外で抗議。この日は大型ク
レーン船やスパット台船による海底掘削調査の様
子は確認されなかった。午後4時まで、ゲート前
集会やテント前集会、抗議デモなど行った。

25日、毎週水曜日に続けている移設工事を止め
るための大行動日だ。二見の駐車場には沢山の車
が駐車場狭しとばかり、朝6時にもかかわらず大
結集の気配。キャンプ・シュワブゲート前には約
700人が結集。早速抗議集会。通常、沖縄防衛局
は午前7時頃に基地内へ資機材を搬入したり、工
事関係車を入れるが、700人の反対勢力で阻止で
きた。集会には多くの県議や市町村議、各村から
のマイクロバス、早い人は朝5時に向かってきて
いる。集会では呉屋金秀グループ会長、沖縄「建
白書」を実現し未来を切り拓く島ぐるみ会議の訪
米団長から20日までの訪米成果の話があった。

移設問題は「日本の国内問題」とする米側に対
し、問題の当事者だとくぎを刺すとともに、民意
を無視した移設計画の見直しを直接訴えた。同時
に米地方議会、労働組合、市民団体などに対話の
幅を広げ、米世論喚起に向けた「種まき」となっ
た。と成果を話された。今回の成果には全米で18
支部を持ち、数千人の会員を抱えるアジア太平洋
系アメリカ人労働者連合(APALA)が新基地に反対

し県民と連帯する決議をしたことに加え、米国最
大労組で民主党の指示母体である「米総同盟産別
会議」(AFL-CIO)から支持表明が報告された。

この後、参加者数が200人程度に減った午前11
時ごろに突然機動隊が座り込みに中央を前後に割
って入り、ごぼう抜きを強行し工事関係車両8台
を基地内に入れた。集会で沖縄平和運動センター
の大城悟事務局長は「数の勝負になってきている。
県民の力を結集させてゲートを封鎖していこう。
行動の日を増やし継続的に止める形を作りたい」
と呼びかけがありました。この日も歌や参加者か
らの話、踊りと抗議行動で4時まで。26日、朝行
動約70人。7時過ぎに機動隊介入。粘り強く抗議
行動するも10分で座り込み解除され、フェンスと
かまぼこ車の間に隔離される。傍若無人の態度に
怒り心頭。囲い込んでいる間に、工事関連とみら
れる車両6台が基地に入った。11時ごろには各地
からバスで参加者が200人近くになった。この日
国連アジアNGOのアジア先住民機構のメンバーが
ゲート前に訪れた。ショアン・カーリン事務局長
は「植民地主義の日米両政府による県民への暴力。
県民に寄り添い、連帯したい」と話した。27日は
100人が結集。ゲート前で30分攻防戦。頑張った。
28日は、休養日にして運転港から伊是名島に行く。
尚円王(しょうえんおう)琉球王国・第二尚氏王
統の初代国王生誕の地。



この日現地では座り込んでいた仲間が機動隊に胸を強く押され、左胸肋骨にひび。救急車で搬送される。大浦湾では掘削調査が確認されなかった。

29日、この日は工事関係者の出入りなし。午後から加藤登紀子、古謝美佐子、海勢頭豊さん等歌手が歌とお話の辺野古ゲート前コンサートに、山城博治の歌も飛び入り。「座りこめ」を合唱。私はこの闘争は勝てるぞ!また来るぞ!と誓う。

＊ 11月23日から一週間にわたり、現地闘争に参加した、東京平和運動センター・関副議長の報告を、掲載しました。

不戦と民主主義―戦後の誓いを忘れない 憲法理念の実現をめざす第52回大会

(護憲大会)開催 11.14~16青森市

11月14日から16日までの日程で、青森市のリンクステーション青森(青森市民文化会館)をメイン会場に、1800人が参加して開催されました。



11月14日の開会総会は、福山真劫・実行委員長の主催者あいさつ、鹿内博・青森市長が来賓あいさつ、そして金澤茂・青森県実行委員会委員長(弁護士)の地元あいさつ、近藤昭一・民主党幹事長代理(衆議院議員、立憲フォーラム代表)、吉田忠智・社会民主党党首(参議院議員)、南部美智代・連合副事務局長の連帯あいさつをそれぞれ行いました。これらを受けて、藤本泰成実行委員会事務局長が基調提案し、改憲阻止を呼びかけました。

開会総会に引き続いて開かれた「戦争法阻止、立憲主義確立、憲法擁護のため私たちは今後どう闘うのか」と題したシンポジウムは、大会実行委員長を務める福山真劫・平和フォーラム代表を司会・コーディネータ。パネリストは、上智大学教授の中野晃一さん、日本体育大学教授の清水雅彦さん、ルポライターの鎌田慧さん、戦争をさせない1000人委員会・信州事務局の喜多英之さん。それぞれの立場で昨年から今年にかけての安倍政治に対するとりくみを報告するとともに、今後の展開に向けて意見交換しました。

開会総会に引き続いて開かれた「戦争法阻止、立憲主義確立、憲法擁護のため私たちは今後どう闘うのか」と題したシンポジウムは、大会実行委員長を務める福山真劫・平和フォーラム代表を司会・コーディネータ。パネリストは、上智大学教授の中野晃一さん、日本体育大学教授の清水雅彦さん、ルポライターの鎌田慧さん、戦争をさせない1000人委員会・信州事務局の喜多英之さん。それぞれの立場で昨年から今年にかけての安倍政治に対するとりくみを報告するとともに、今後の展開に向けて意見交換しました。

第2日に分科会・フィールドワーク・ひろば、最終日に閉会総会という日程で行われました。

自治労東京

2015もんじゅアクション

12.4~12.5

福井現地で学習・抗議行動

自治労東京都本部は、反戦・反核行動委員会の取り組みとして、12月5日に福井市で開催された「2015もんじゅを廃炉に！全国集会ジョイント高浜原発3・4号機再稼働を本気で止める！全国集会」に合わせ、12月4・5日にかけて「自治労東京2015もんじゅアクション」を行った。



初日、敦賀半島にある美浜原発、敦賀原発の資料館等の見学と高速増殖炉「もんじゅ」ゲート前での抗議行動を行った。移動のバスの中では、関久・東京平和運動センター副議長の原発街道と言われる若狭湾での原発開発と事故の歴史等の講義を行った。そして美浜原子力PRセンターや敦賀原子力資料館を見学、資料館側と意見を闘わせた。「もんじゅ」ゲート前で抗議のシュプレヒコールを行った。

翌5日は福井市に移動して、福井市文化会館で開かれた「2015もんじゅを廃炉に全国集会」に参加した。集会は、原子力発電に反対する福井県民会議、原水禁、原子力資料情報室、ストップ・ザ・もんじゅ、反原発運動全国連絡会の5団体の呼びかけで開かれた。参加者は700名。

集会の後は、「高浜原発3・4号機の再稼働を本気で止める！全国集会」が開かれた。賛同人の一人でもある講談師・神田香織さんは、「さようなら原発1000万人アクション」を代表してアピール。福島出身であることにも触れ、弱小な地域・住民に極めて危険な施設を押し付ける原発推進側とともに闘っていこうと訴えた。集会のあと参加者は、右翼の街頭宣伝にも負けず、福井駅までパレードを行った。

集会の後は、「高浜原発3・4号機の再稼働を本気で止める！全国集会」が開かれた。賛同人の一人でもある講談師・神田香織さんは、「さようなら原発1000万人アクション」を代表してアピール。福島出身であることにも触れ、弱小な地域・住民に極めて危険な施設を押し付ける原発推進側とともに闘っていこうと訴えた。集会のあと参加者は、右翼の街頭宣伝にも負けず、福井駅までパレードを行った。

辺野古新基地反対！東交学習派遣団

12月3・4・5日

昨年に引き続き、東京交通労組が46名を派遣

東京交通労働組合（東交）は12月3日から5日まで、「辺野古新基地反対！東交学習派遣団」に取り組み、辺野古新基地建設に向けた国による辺野古埋め立て強行実施に反対する現地闘争団との連帯・支援を行った。

東交派遣団46人は12月3日午後2時20分に沖縄に到着後、貸切バスで名護市辺野古に向けて出発し、キャンプ・シュワブ第1ゲート前



（正面ゲート前）で、抗議行動を続けている現地闘争団を支援した。ゲート前では、団長・福田書記長が激励の挨拶を行い、現地闘争団の代表に東交が製作したタオルを手渡した。時折、オスプレイが上空を周回する中、派遣団は現地の闘争団と一緒に「辺野古新基地NO」や「全基地撤去」と書かれたプラカードを掲げ、沖縄の民謡も交えながら新基地建設に抗議した。

続いて、第2ゲート前に移動し、沖縄防衛局がゲート前に設置した「三角形の突起が並んだ鉄板」の説明を受け、現地闘争団の置かれている状況を目の当たりにした。

その後、辺野古浜に移動して、辺野古浜の座り込みテントとキャンプ・シュワブのフェンスを視察し、1日目の行程を終了した。

翌4日は、午前9時30分から宿泊ホテル内の会議室にて「沖縄における闘いの現地報告学習会」を開き、沖縄県議会議員・玉城義和氏と沖縄平和運動センター・大城悟事務局長から講演を受けた。



学習会は見城組織部長の開会・司会で進行

し、まず派遣団を代表して団長の福田書記長から「東京で得られる沖縄の情報はかなり統制をされており、ほとんど伝えられていない。今日お二方に生の報告を受けて、ぜひ東京に持って帰ってフィードバックをしていただきたい」と挨拶した。

講演は、まず沖縄県議会議員の玉城義和氏から「①辺野古埋め立て取り消しをめぐる裁判、②島ぐるみ会議の行動、③地位協定の具体的な内容」の話があり、「町村議会議長会が全国大会で『日米地位協定の見直しに関する特別決議』をしたことは一定の前進だろう」と述べ、「沖縄は正念場を迎えている。オール沖縄の体制は崩れていない。沖縄問題を日本の問題という大きな枠で考え、今後も沖縄の問題に関心を持っていただき、組合の中でも広めていただきたい」と連帯と協力を訴えた。

沖縄平和運動センター・大城事務局長からは、我々が普段目にできない辺野古の実情の写真を見せながら、現地闘争の取り組みの報告があり、「早朝行動や集会に連日県外からも多くの方に参加をさせていただいている。これからが勝負であり、これ以上米軍基地をつくらせない行動を、沖縄の問題だけではないという認識で、仲間と連帯してみんなで頑張り合いたい」と決意を述べ、協力を訴えた。

若干の質疑応答のあと、最後に東交がタオル販売で取り組んだ「カンパ金」目録を手渡し、古谷野教文部長の閉会挨拶で約2時間15分にわたる学習会を終了した。

午後からは貸切バスに乗り、嘉数高台公園の展望台から普天間基地を見学、再び貸切バスで「道の駅かでな」に移動し、屋上展望台から嘉手納基地の見学を行い、基地撤去の思いを改めて強くした。その後、首里城を見学して2日目の行程を終了した。

最終日の5日は、午前から「沖縄県立平和祈念資料館」を見学、「ひめゆりの塔」「ひめゆり平和祈念資料館」を見学し、昼食後、空港に向かう貸切バスの中で解団式を行い、帰路に着いた。

（東交の報告を掲載させていただきました）

狭山東京実行委員会

第 21 回総会開催

12.16東交会議室

2月17日に「東京集会」を開催

狭山東京実行委員会は、12月16日第21回定期総会を開催、今後一年間の活動方針を決定、以下の大会決議を確認しました。また、来年の2月17日に「狭山事件の再審を求める東京集会」を田町交通ビルで開催することとしました。

狭山事件の再審開始を求める決議

2009年12月、東京高裁 門野裁判長が検察官に対して証拠開示を勧告し、狭山は大きく動き出しました。弁護団・裁判所・検察による三者協議がこれまでに25回積み重ねられ、185点の証拠が開示されました。事件発生から47年目にして開示された石川さんの逮捕当日の上申書は、脅迫状とは筆跡も筆記能力もまったく異なっています。犯行に使われた手拭いは石川さんの家のものではなく、捜査の不正さえ浮かび上がっています。靴や時計についても警察によってねつ造されたのは明白です。開示された取り調べ録音テープによって、石川さんは死体の状態や靴や教科書の捨て方などの犯行内容をまったく知らず、取調官らが誘導してウソの自白を作り、さらに万年筆発見のもとになったとされる「略図」が警察官によって改ざんされたものであることまでが明らかとなっているのです。

筆跡の一致を有罪証拠の主軸とし、捜査に不正はなく、自白は信用できるとした寺尾判決は完全に崩壊しています。今こそ、徹底した証拠開示と事実調べがおこなわれ、再審が開始されなければなりません。

しかし、検察官は殺人事件では必ず行うはずの殺害現場の「血痕反応検査報告書」や実況見分調書にある「殺害現場を撮影した8ミリフィルム」など、肝心な証拠については全て「不見当」として開示していません。捜査で集められた証拠を独占物とし、真実を発見するためには必要不可欠な証拠の開示請

求に抵抗しています。

植村裁判長は、これまでの裁判所の姿勢を踏襲するとし、弁護団が求める未開示の重要証拠や「東京高検以外で保管されている証拠の一覧表」などの開示を検察官に促していますが、頑なに開示に応じようとしていません。私たちは、このような検察官の不当・不誠実なやり方を断じて許しません。

新証拠の発見を要件とする再審制度の趣旨からも検察官がことさら隠すことは正義に反するものであり、再審請求において、検察官手持ちの未提出資料の開示が必要不可欠であることは、この間相次いだ冤罪事件、足利事件・布川事件・袴田事件等々の再審開始決定を見れば明かです。植村裁判長には、検察官に対し「すべての証拠リスト」の開示、未開示の捜査資料の開示勧告を行うことを訴えます。

さらに、相次ぐ冤罪の再審無罪判決の教訓は、証拠開示とともに鑑定人尋問などの事実調べが不可欠であるということです。植村裁判長は、再審制度の理念と相次ぐ冤罪の教訓をふまえ証拠開示を積極的にすすめ、証人尋問や鑑定人尋問などの事実調べを即刻行うべきです。

事件発生から52年、寺尾差別判決から41年が経過し、確定判決は大きく揺れ動き、崩壊の一途をたどっています。間違いなく狭山事件をめぐる闘いは大詰め段階を迎えています。石川一雄さんはもうすぐ77歳です。これ以上の時間の経過は許されません。

狭山事件53年目を迎える2016年、私たち狭山東京実行委員会は、総力をあげて徹底した証拠開示と事実調べを行なわせ、東京高裁に「決断」を迫る闘いを展開していきましょう。

以上決議する。

2015年12月16日

狭山東京実行委員会第21回総会

＜新任役員＞

議長	佐藤 光夫（東京平和運動センター）
副議長	若林 克俊（三多摩平和運動センター）
〃	中本 信弘（東京同宗連議長）
〃	佐藤 有恒（社民党東京都連）
事務局長	桐田 達也（東京平和運動センター）
事務局次長	松島 幸洋（解放同盟東京都連）

活動日誌

- 11. 14～16 憲法理念の実現をめざす第 52 回大会(青森市)
- 11. 27～28 第 47 回食とみどり、水を守る全国集会(石川・金沢市)
- 11. 29～30 関東ブロック総会〈山梨〉
- 11. 29 辺野古新基地建設阻止!埋め立て着手を許さない大行動
(13:30～東京・日比谷野音)
- 12. 05 さようなら原発講演会(18:00～日本教育会館)
- 12. 05 「国連人権勧告の実現を!」集会・デモ行進(13:00～東京・代々木公園)
- 12. 05 もんじゅを廃炉に!全国集会(福井・敦賀市)
- 12. 16 東京平和運動センター常任幹事会
(15:00 東交会議室)
狭山東京実行委員会総会
(17:00 東交会議室)

今後の日程

- 01. 04 戦争させない 9 条壊すな!総がかり行動国会行動 (12:00～議員会館前)
- 01. 16 食の安全・監視市民委員会連続講座
(14:00～連合会館)
- 01. 19 戦争法反対! 1 9 日行動 (18:30～国会前)
- 01. 22 平和フォーラム・拡大運営委員会
(13:30～全水道会館)
- 02. 11 憲法と「建国記念の日」を考える
2. 1 1 集会 (14:00～日本教育会館)
- 02. 17 狭山事件の再審を求める東京集会
(17:30 田町交通ビル 6 階ホール)
- 02. 20 朝鮮学校を支援する全国集会
(田町・交通ビル)
- 02. 23～25 平和フォーラム・全国活動者会議
(沖縄)
- 03. 01 ビキニ・デー集会 (静岡)
- 03. 12 原発のない福島を!県民集会 (郡山)
- 03. 26 原発のない未来へ! 3. 2 6 全国集会
(代々木公園)

東京平和運動センター第 7 4 回常任幹事会 〈報告〉 12. 16 東交会議室

- 1 安保法制への当面の取り組み
当面、戦争をさせない 1000 人委員会
の提起する行動に積極的に取り組む
街頭「署名行動」を東京地公労と協議
し、「東京 1000 人委員会」として取
り組む。
- 2 辺野古新基地建設阻止の取り組み
来春めどに、東京平和運動センターと
して、現地支援団を派遣する。
- 3 狭山東京実行委員会の取り組み
「狭山事件の再審を求める東京集会」に
ついて
2016 年 2 月 17 日 (水) 18 時 30 分～
田町交通ビル 6F ホール
参加割当: 平和運動センター-100 人
- 4 その他
- 5 次回幹事会
2 月 1 7 日 (水) 16:00～

